

たんぽぽ組

① ミルクを喜んで飲む。

自分で離乳食や幼児食を手づかみやフォークを使って食べようとする。

➡発達段階に合わせて食材の切り方や声かけを工夫しながら食事を進めていくことで、咀嚼や嚥下が少しずつ上手になってきました。また、1人ひとりの様子を見ながら、声かけしたり手を添えたりしてフォークで食べるようにも関わってきました。まだ手づかみで食べる姿もありますが、少しずつフォークですくって食べる姿に移行しつつあります。

② ふれあい遊びや模倣遊びを楽しみ、友だちとの関わりを持つ。

➡絵本やままごとなどの遊びを通して、1人ひとりの愛着関係を大切にしてきました。たくさん触れ合うことで子どもたちの情緒も安定し、いろいろな表情や仕草が見られるようになりました。また、遊びの中で、保育者が仲立ちすることで友だちとの関わりも増え、たくさんの笑顔が見られるようになりました。

③ 手遊びや歌、絵本に興味関心をもつ

指先を使ったいろいろな遊びを楽しむ。

➡手あそびやうた、絵本、指先を使った遊びなど成長発達に合わせて、子ども1人ひとりとゆったりと関わり成長に繋げていきました。今では好きな歌をリクエストしたり自分で絵本をめくりながらおしゃべりしたり、指先を使ったあそびでは親指や人差し指でつまんだり洗濯ばさみを広げたりと成長が見られる子どもたちです。

ちゅーりっぷ組

① フォークやスプーンを下から持ち、食器に左手を添えて食べる。

トイレで排せつができるようになる。

➡子どもたちの様子を見ながら声かけをしたり一緒に行くことで、少しずつフォークを鉛筆持ちで食べる意識が芽生えてきました。また上手にできた時は、大いに褒めて自信や次への意欲に繋げるようにしています。

➡トイレで排泄したりパンツに失敗したりと日々繰り返し経験しながら、排泄習慣が身につけてきました。今では1日をパンツで過ごせるようになり、子どもたちも嬉しそうにしています。今後は排泄の自立ができるよう自分から「おしっこ」と伝えたり時間が伸びたりするのを目標にしていきたいと思います。

② 身近な保育者や簡単な言葉のやりとりをしながら遊びを楽しむ。

➡ままごとや絵本、手あそびなどを多く取り入れて発語やことばの理解に繋がるようにしました。以前に比べ、単語が2語文、会話と変化し、友だちや保育者との関係性がより密になったように感じます。

③ 指先を使った遊びに興味関心を持ち、楽しむ。

➡指先を使った遊びを繰り返し保育に取り入れることで、いろいろな指先の動きが獲得し、楽しさや達成感、集中力、自信に繋がっています。これからもいろいろなことに挑戦する機会をつくり、成長に繋げていけたらと思っています。

すみれ組

① 箸やフォークを正しく持ち、楽しく給食を食べる。

簡単な身の回りのことを自分でする。

➡フォークの持ち方は、子ども達から「こう？」と尋ねてくるので意識づけはできている。また不安定な子どもには1人ひとり丁寧に手を添えて関わるとともに鉛筆持ちが定着できるようなあそびを遊びの中に取り入れていくことで、出来るようにしていきたい。

➡身の回りのことは仕方や手順を日々繰り返すことで、少しずつ身についてきている。

② 「かして」「いいよ」「一緒に〇〇しよう」など、友だちとの言葉のやりとりを楽しむ。

➡保育士の仲立ちや楽しめるような場を設けることで、1人遊びから集団遊びに変化して遊びの幅が広がってきています。

③ いろいろな素材・道具を使って、製作を楽しむ。

➡はさみは手を添えたりして切り方を伝え、回を重ねることで一発切りができるようになりました。

のりは声かけにより、真ん中だけから隅々までつけてのばせるようになりました。今後もいろんな素材を取り入れていこうと思います。

ばら組

① 身のまわりのことは自分から進んで行い自信をつける。

保育者の話を聞いて行動する。

➡前期と比べて自分から進んで身の回りのことをする子が増えたので、これからは子どもたちの様子を見ながら必要に応じてそばにつき、声かけしていくようにしていきたいと思います。

② 自分の気持ちで表現する。

保育者や友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わい、簡単なルールのある遊びに参加する。

➡自分の気持ちや思いをだいが言葉で伝えられるようになってきたが、中には言葉が上手く伝えられなかったり気持ちのコントロールができなかったり、先に手が出てしまったり強い口調で言う姿が見られる。これからも保育者が仲立ちしながら、子どもの気持ちを代弁しながら関わり方を伝えて行けたらと思います。また言葉で伝えられた時は、大いに褒めるようにする。

③ 歌やリズム遊び、製作などで自分の思いをのびのびと表現する活動を楽しむ。

➡楽しんで参加する子が増えてきました。これからも子どもたちが興味を持っているものを多く取り入れるとともに、保育者も一緒に楽しんで取り組めるようにする。

きく組

- ① 決められた時間内は席を立たず、食事をする。
➡事前に「ごちそうさま」の時間を伝えたり、食事のマナーについては子どもたちと話し合う機会を持ったりして再確認したことで子どもたちが意識できるようになってきた。
- ② 相手の気持ちを考え、発言したり行動したりできるようになる。
➡仲立ちすることで、相手の話を聞き落ち着いて相手の気持ちを考えようとする姿が増えていった。チクチク言葉が出ていたらその都度考えるようにしていこうと思う。
- ③ 楽しみながら、目標としている回数を縄跳びで跳べるようになる。
➡縄跳びを使った遊びを活動に取り入れることで、跳ぶ楽しさがうまれ自ら頑張ろうとする姿が多く見られるようになった。

さくら組

- ① 静かに話を聞く時と話す時のメリハリをつける。
食事のマナーを振り返る。
- ② 人の話を最後まで聞けるようになる。
- ③ 1つひとつの活動に時間やルールを決め守れるようにする。
➡小学生になるために、3つの目標(食事のマナーを振り返る・話を聞く(活動にメリハリをもつ)・1つ1つの活動に時間やルールを守る)を掲げ取り組みました。どの項目も子どもたちとのコミュニケーションの中で「これでいいのか」「どうしたら良いのか」を一緒に考え、子どもたちに意識してもらえるように努めました。子どもたちが周りを見て行動したり、友だちに教えてあげる姿も見られたりと成長を感じました。